



血糖コントロールをめぐる

副院長兼糖尿病・内分泌代謝科部長 川喜田 節代



糖尿病とはどういう病気でしょうか。インスリンの作用不足により慢性的な高血糖状態が続き合併症が出る病気といえます。キーポイントは3つ、①インスリン作用の不足②慢性の高血糖③合併症です。今回はこの中から高血糖について最近のトピックスをまじえお話ししたいと思います。

血糖は正常人では空腹時70-110mg/dl（以下単位省略）食後でも140までに調節されています。膵臓機能の低下等により、食後の血糖が上昇し始めやがて空腹時血糖も上昇し、糖尿病が発症します。空腹時血糖126以上か食後血糖200以上、またはHbA1c（国際基準→後述）が6.5%以上の場合には糖尿病の可能性が大変高く、再検査して確認する必要があります。（口渇多尿等の症状または糖尿病網膜症が認められるときは再検査することなく糖尿病と診断されます。）ここで問題となるのは検診ではよく空腹時血糖を測りますがそれだけでは糖尿病が見逃されてしまうことがあるということです。軽い糖尿病はブドウ糖負荷テストをしないと診断できません。

一方食後血糖は、糖尿病になる前から高くなるのですが、この食後血糖は、高いほど動脈硬化が進行するということがわかりました。食後の高血糖をいかに下げることが治療の大きなポイントになってきています。

理念

地域の信頼に応えるために
良質な医療を行います

基本方針

1. 人間尊重の医療に努めます
2. 常に研鑽し質の高い医療をめざします
3. 安全で満足できる医療を提供します
4. 医療をとおして地域社会に貢献します

さて血糖は、食事内容や治療の内容によって変動し、糖尿病が進むにつれその変動幅は大きくなっていきます。糖尿病が高血糖の病気だからといっても血糖は刻々と変化するので1回の血糖検査では状態把握が難しいことがしばしばです。そこで血糖の平均を表す指標としてHbA1c（ヘモグロビンエーワンシー、またはグリコヘモグロビンともいう）が用いられるようになりました。およそ1-2か月前の血糖の平均値と関係します。（単位は%です。4月から新しく国際基準値で言い表すことになりました。従来のHbA1cに0.4加えた数字となります。）日本糖尿病学会ではコントロール優の状態は6.2未満。良の状態は6.2から6.9未満としています。ではHbA1cは下がれば下がるほどいいのでしょうか。それについては2008年に「治療を強化してHbA1cを下げた場合かえって死亡率が高くなった」という衝撃的な報告がなされました。その原因としては低血糖が起きたことが考えられています。

そんなわけで今糖尿病治療の現場では、単にHbA1cを下げるだけでなく、血糖変動幅を小さくする、低血糖を起こさない、食後高血糖を下げる、ということに主眼をおいた治療法が目標とされています。

栄養管理室 のご紹介

栄養管理室は医師1名、栄養士3名、事務員1名の5名、老人保健施設やすらぎには栄養士2名がおります。当院の中では人数も少なく、小さな部門ではありますが、「ニーズに応じた栄養管理」の理念の下、業務を行っております。では、栄養管理室がどのような仕事を行なっているかをご紹介します。

【栄養管理業務】

大きく分けて、栄養指導と入院患者さまの栄養管理があります。まず、栄養指導については、外来・入院患者さまを対象に行なっています。医師の指示に基づき、患者さま個人に合わせた、分かりやすく、無理なく行える指導をするよう心がけております。栄養指導の実施については、必ず当院医師の指示が必要となりますので、ご希望の方は担当医にご相談ください。次に入院患者様の栄養管理についてです。入院されている患者さま全員に、栄養管理計画書を作成しております。栄養状態や食事状況を把握し、個人に合わせた食事内容や補助食品等の提案をさせていただいております。

【給食業務】

入院患者さまの食事は、それぞれ病気、症状にあわせて、主治医の指示に基づいて提供しています。「安全で安心な食事の提供」ができるように、衛生面においても十分に気を配り、調理を行っております。

普通食・糖尿病食に関しましては、選択メニューを行っております。2種類より、好きなメニューを選ぶことができます。また、年中行事にあわせたカードを添えて、食膳に彩りを加えております。カードは全て手づくりです。



▲当院調理スタッフ



▲行事食カード



▲選択メニュー

【老人保健施設やすらぎ】

やすらぎでは、「心のこもった食事サービスを提供します」を基本方針とし、郷土料理、夏祭り、寿司バイキング、デザートバイキングなどさまざまなイベントを行っております。利用者さまの笑顔のため、日々業務に励んでおります。



▲やすらぎ調理スタッフ



▲デザートバイキング



▲寿司バイキング



★看護師・准看護師募集★

看護師さん、准看護師さん（正規職員・パート）随時募集しています。
詳細は、☎0572-55-2111内線2833
看護部 堀 又は 水野(八) まで

★看護師修学資金貸付金対象者募集★

土岐市では、将来当院で勤務していただける看護学校又は看護大学在学中の学生さんを対象に月額7万円の修学資金の貸付けを行っております。看護師免許取得後貸付期間と同じ期間当院で勤務していただければ償還免除となります。詳細は☎0572-55-2111 内線2866 総務課 橋本又は森まで

新しい医師を紹介します



★10月1日より

大垣市民病院より

消化器内科 安田 諭

同じ岐阜県内ではありますが西濃地方の大垣から東濃地方に異動させていただきます、10月から勤務させていただいております。まだまだ不慣れな点もありますが、地域や病院に貢献できるように善処していきたいと思っております。



★1月1日より

木沢記念病院より

脳神経外科 医長 秋 達樹

出身は御嵩町です。

ここ数年間は少し特殊なところで働いていたため、脳外科医としての勘を取り戻すのと、病院業務に慣れるまでには時間がかかるかもしれませんが、この地域の医療と土岐市立総合病院に貢献できるように頑張りたいと思っております。よろしくお願ひします。

★土岐市立総合病院ストーマ外来のご案内★

ストーマとはギリシャ語で「口」を意味しており、手術によっておなかに作られた便や尿の出口のことです。俗に「人工肛門」、「人工膀胱」とも呼びます。ストーマ外来とは、ストーマをお持ちの方がより快適な日常生活を送ることができるようにストーマに関しての専門的な相談に応じる外来のことです。当院では24年10月からストーマ外来を開設し、研修を受けた専門の看護師（皮膚・排泄ケア認定看護師）が個別にサポートを行っています。開設以来、「悩みを打ち明けるところがなく悩みを聞いてもらえてよかった」、「今までひとりで“これでいいのだろうか？”と思いながらストーマケアを行ってきた。これでよいと言われ安心した」などの※オストメイトの声が聞かれています。今後もオストメイトがひとりで悩みや不安を抱えることなく安心して快適に生活できることを目指し、医師や外来看護師と連携しながらサポートしていきたいと思っています。

ストーマについて問題や悩みを抱えている方がいらっしゃいましたら、遠慮なくご相談ください。

診察日時	毎週火曜日 午前9時～正午
場所	小児科 特別診察室（医師の診察は外科外来、必要に応じて泌尿器科外来）
対象	大腸ストーマ、小腸ストーマ、尿路ストーマをお持ちの方 当院以外でストーマを作られた方も受診可能（要予約・紹介状不要）
予約 ・ 受診方法	完全予約制 初回はストーマ外来受診前に外科の診察が必要 当院でストーマをつくられた方は、外科外来（人工肛門をつくられた方）又は泌尿器科外来（人工膀胱をつくられた方）で予約をお取りください。 他の病院でストーマ等を造設された方も受診可能です。初診の方は外科外来で予約を受付けますので、お電話でご予約ください。電話：55-2111
内容	<ul style="list-style-type: none"> ストーマ保有者、または主なケア者による装具の剥離、スキンケアの実施 ケア手技の確認、皮膚の観察と評価、トラブルの観察、評価など 外科医師によるストーマ診察、記録 スキントラブルへの対応、装具選択、新しい装具の情報提供、生活指導、排尿障害や性機能障害の対処法、その他相談など

※ストーマ（人工肛門、人工膀胱）を造設した人



皮膚・排泄ケア認定看護師
宮本 嘉子
（電話：55-2111）

◆病院機能評価の更新認定を受けました

このたび、財団法人日本医療機能評価機構からバージョン6.0による病院機能評価の更新認定を受けました。認定期間は、平成24年4月15日から平成29年4月14日までの5年間です。

病院機能評価は医療機関の機能を中立的な立場で評価を行う第三者機関として設立された財団法人日本医療機能評価機構が審査を行い、機構の定める認定基準を達成した病院に対して認定証が発行されるものです。当院は、平成14年に初めて認定を受けて以来、今回が2回目の更新（平成19年に1回目の更新）となりました。

今後とも「地域の信頼に応えるために良質な医療を行います」の基本理念の下、医療の質の向上を図り、市民の皆様の信頼と期待に応えられるより良い病院を目指し、努力してまいりますので、よろしくお願ひいたします。



外来診療表

平成25年1月

診療科名	月	火	水	木	金	備考	
内科	1診(内分泌)	東 慶 成	川喜田 節代	安田 詩奈子	柴田 みゆき	川喜田 節代	
	2診	足立 崇 (呼吸器)	山内 辰也 (血液内科)	高嶋 浩司 (呼吸器)	山内 辰也 (血液内科)	山下 良 (呼吸器)	
	3診(新患)	当 番 医	当 番 医	加藤 宏雄	当 番 医	当 番 医	
	5診	古賀 俊充 (一般内科)		奥村 健二 (循環器)	古賀 俊充 (一般内科)	加藤 宏雄 (一般内科)	
	6診(循環器)	朱宮 孝紀	奥村 健二	塚本 英人	山内 正樹	塚本 英人	
	7診(消化器)	白井 修	安田 諭	安田 諭 下郷 友弥 隔週	白井 修	下郷 友弥	
	8診					安田 詩奈子 (内分泌)	
	禁煙外来 (PM予約制)			奥村 健二			*予約制
神経内科	2診	三竹 愛子	土川 聡		三竹 愛子	土川 聡	
	3診	高橋 典三	大塚 康史	高橋 典三		大塚 康史	
	内科 10診		河野 親夫				
腎臓内科		村山 慎一郎	村山 慎一郎	第1・3・5 第2・4 三輪 真幹 中嶋 真貴	村山 慎一郎	村山 慎一郎	
外来ドック室		清水 豊	清水 豊	清水 豊	清水 豊	榊原 聡	*予約制
整形外科	1診		西本 聡	山村 俊介	西本 聡	西本 聡	
	2診	大原 邦仁					
	3診	市瀬 彦聡	中島 由加里		木村 稚佳子	中川 研二 (特殊外来、午後)	
外科	1診	伊藤 昭宏	榊間 勝利	多和田 雄介	川西 順 (血管外科)	榊間 勝利	
	2診	丸山 優貴	多和田 雄介	丸山 優貴	伊藤 昭宏	川西 順 (血管外科)	
	呼吸器外科外来(PM)					沼波 宏樹	
小児科	1診	元吉 史昭	元吉 史昭	元吉 史昭	元吉 史昭	元吉 史昭	
	2診		中野 正大				
	特殊外来(PM)	(予防注射) 元吉 史昭	(喘息・アレルギー) 元吉 史昭		(喘息・アレルギー) 元吉 史昭		
耳鼻咽喉科	1診	伴野 真哉	伴野 真哉	伴野 真哉	伴野 真哉	第1・3・5 第2・4 伴野 真哉 水谷俊太郎	
	2診	水谷 俊太郎	水谷 俊太郎	水谷 俊太郎	水谷 俊太郎	植田 広海	
眼科	1診	萩原 葉子	萩原 葉子	萩原 葉子	萩原 葉子	萩原 葉子	
産婦人科	1診	田中 隆行			坂田 純	田中 隆行	
脳神経外科	1診	野田 伸司	北島 英臣	野田 伸司	秋 達樹	北島 英臣	
形成外科		中屋敷 典久	中屋敷 典久	中屋敷 典久	中屋敷 典久	中屋敷 典久	
泌尿器科	1診	大菅 昭秀	金井 茂	山本 徳則	大菅 昭秀	金井 茂	
歯科		横井 彰	横井 彰	横井 彰	横井 彰	横井 彰	*予約制
精神科	1診		加藤 美樹	加藤 美樹	加藤 美樹	鈴木 幹央	
	2診		曾根 靖貴			関 正樹 (特殊外来)	*予約制
皮膚科	1診	大和田 知里		水谷 陽子		奥村 陽子	
放射線科		松原 一仁	松原 一仁	松原 一仁	松原 一仁	松原 一仁	
リハビリテーション科		当 番 医	当 番 医	当 番 医	当 番 医	当 番 医	

この色表示は、非常勤の医師を示しています。

※各診療科目担当医師については、都合により代診させていただきます場合があります。

- ◇受付時間 午前8時30分～午前11時30分まで
- ◇休診日 土日祝祭日、および年末年始(12月29日～1月3日)
- ◇面会時間 午後1時～8時まで

*印の診療科は、予約制となっております。
(初診でかかれる方は、あらかじめお電話でご予約をお願いします。)

2次救急当番のお知らせ

東濃厚生病院(瑞浪市)と輪番制で、土岐市、瑞浪市の2次救急当番を行っています。時間外や土曜日、日曜日、祝祭日については、毎週(月)(水)(木)と第2、4(土)(日)が当院の2次救急当番になっており、救急車の受け入れを行っています。
(診療科によっては受け入れられない場合があります。)

土岐市立総合病院 併設：土岐市老人保健施設「やすらぎ」

〒509-5193 土岐市土岐津町土岐口703番地の24

電話：(0572)55-2111 FAX：(0572)54-8488 E-mail:byoin@city.toki.lg.jp